

鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン 第7回委員会（5月25日）コメント及び反映表

資料2-2

資料 資料1 検討スケジュール、資料2-1 第7回委員会検討資料、資料2-2 第6回委員会

番号	ページ		コメント（資料2-1 第7回委員会検討資料）	反映（資料2-1 第8回委員会検討資料）
全体/その他				
1	全体	小島委員	・市民も協力体制で行くので、検討の過程で無駄になることは素早く省略・削除して、進む方向で行った方がよい。 ・周辺地区も踏まえた考え方が必要だと思う。	・意見を踏まえて本編作成時に修正する。
0章～2章（1～8p、9～11p）				
1	2p	三浦委員	・ガイドラインの使用例に、「法的制約」の表現は→法的コントロールとしては、いかが。 行政から規制を受けていると捉えてしまう方もいると思うので。カタカナを使わない場合、規定？いずれにしろ合意の上の決まりごとに沿って進める」といったニュアンスが伝わるよう丁寧に説明。	・本編で修正する。
2	3p	三浦委員	・「まちびらき」が2回使用されているが、わかりやすく整理必要。	・2p、「第1回目まちびらき」、「まちびらき」に修正した。
3	3p	村上委員	・行政も「エリマネ編」のある最後までしっかり参加するのでは？	・2p、行政の参加部分修正した。
4	2p、5p、6p、7p等	福岡副委員長	・ウォークアブルの意味合いが全体に通ってなく、意味が分かりにくくなっている。鎌倉市にとってのウォークアブルの整理が必要と同時に内容の全体としてウォークアブルの定義を整理が必要に見える。（コンセプトに使われる広い意味のウォークアブルと狭い意味でのウォークアブルとの区分と整理が必要。）	・4p、コンセプト編等全体通して整理した。引き続き検討する。
4	5p	村上委員	・空間ビジョン「公園のようなまち」（仮）意味が人によって違う。「賑わい」→「人の活力を生かす」のようなより具体的な表現が良いのでは。	・4p、コンセプトページで整理した。引き続き検討する。
5	5p	三浦委員	・①公園のようなまち/②緑と水に囲まれた、ウェルネスを実現するまち（空間イメージやアウトカム）/③ウォークアブルなまち(空間機能)と複数あるキーワードがまだしっかりこない。	・4p、コンセプトページで整理した。引き続き検討する。
6	5p	清原委員	・ビジョンとコンセプトは似たような内容が重なっていて、少し分かりにくい。6p以降の流れが分かりにくい。	・4、5p、「コンセプト編」14p「ルール編」で整理した。
7	6p	中村委員長	・6p実現方策に4つのレイヤーに整理されている。10つのルールとの関係が少し分かりにくくなっている。	・4、5p、「コンセプト編」14p「ルール編」で整理した。
3章 10つのまち並みルール				
1	13p	三浦委員	・屋外空間に対して、コロナ禍も経て、憩える場を屋外に安心して持てる価値についてまず追記しては、→その上で「賑わい」の議論ができる。賑わいが単に人数が集まることを指さないことを示す。	・14p、修正・反映した。
2	14p	福岡副委員長	・垂直複合の奨励の項目に、業務～商業～多様な複合があるので、表現等修正必要	・15p、修正・反映した。
3	17p	三浦委員	・駐車場附属義務台数は決めないのか。	・検討中
4	17p	清原委員	・駐車場や車動線についてかなり踏み込んだ内容なので、その理由をより丁寧に説明した方が良いのでは？	・19p、歩行者・公共交通中心のまちを支える手段としての車抑制について記載・整理した。
5	19p,20p	福岡副委員長	・グリーンインフラに関しては、より明確な数値、性能の目標が必要である。	・22p、グリーンインフラについての検討をまとめてある。数値目標については、引き続き検討する。
6	19p	三浦委員	・脱炭素社会実現のためには、交通手段が有効なので、環境にやさしい移動手段を奨励する内容を追加した方が良いのでは？	・23p、反映した。
7	19p	木村委員	・脱炭素社会①～④個々の建物や緑ではなく、まち全体（エリア）としての脱炭素に向けてできることがある。風環境活用など、脱炭素社会の実現ため、エリア全体でできることがあると思う。	・23p、反映した。
8	19p	中村委員長	・建築→目標ではなく、大きな全体から個別の順に整理した方が良いかと思う。	・ルール全体を「活動」→「システム」→「基盤・空間」で整理した。 ・各大項目も項目内で適当な順番で整理した。
9	20,21p	三浦委員	・ルール8とルール9は、構成的に順番を入れ替えた方が分かりやすいのでは？	・ルール全体を「活動」→「システム」→「基盤・空間」で整理した。 ・各大項目も項目内で適当な順番で整理した。
10	20P,21P等	大木委員	・緑、景観、環境等に関する内容が複数のページに渡って記載されているので、整理が必要	・「環境」の詳細を、脱炭素、緑、景観に分けて整理した。引き続き検討する。
11	22p	小園副委員長	・ルール10「風格のある建築ファサード」高さの基準等に提示してほしい。	・26p、高さの記載は検討中。
12	22p	中村委員長	・ルール10⑨あかりについて等は、具体的過ぎるのでは？	・28p、表現を整理した。
4章 エリマネ				
1	18p, 24p	大木委員	・防災を強化する街区形成の内容は、ハードのみ強調されているので、エリマネの方に防災のソフトの面を追加してほしい。	・8p、34p、「参加型避難訓練を中心とした防災エリマネ」等を記載した。
2	24p	大木委員	・エリマネの防災の項目の中の「5 独自の避難訓練を中心とした防災エリマネ」を「参加型防災訓練」に修正してはいかが。（札幌市避難訓練の事例、高知空港での日本航空の参加型訓練等の紹介）	・34p、「参加型避難訓練を中心とした防災エリマネ」等に修正した。
3	24p	三浦委員	・エリマネのページは、p24はオープンスペースの図面よりもp3のようなプロセスを再掲するほうがしっくりくる。	・30p、時間軸を想定し、反映した。
4	24p	清原委員	・エリマネについて、時間軸が異なる中で、どうやって行くのか具体的に整理した方がよい。	・30p、時間軸を想定し整理。32p、場所ごとのイメージを整理した。引き続き検討して反映する予定である。
5	24p	村上委員	・「持続性」のある活動が重要であるので、強調した方がよい。そうなることや財源が重要なので、その仕組み作りが重要。	・31p、「持続的で柔軟性のあるまちを育てるエリマネマネジメント」表現等反映した。 ・35、36p、財源を含むエリマネの仕組み事例の検討及びエリマネ組織イメージを整理した。
6	24p	村上委員	・エリマネ編には、データ活用も位置づけしてほしい。	・31p等、反映した。
7	24p	中村委員長	・エリマネ編は、どのようなイメージでまとめる方針なのか？	・30～36p、事例ベースで、視点と方向性及び組織イメージを提示した。
8	24p	井澤委員	・タクティカル・アーバニズム、福祉MaaSの意味、ルール7のレジリエント等日本語で分かるように注釈や説明を入れてほしい。	・専門用語及び特にカタカナ文字を日本語に変更及び注釈を入れる。かつ、用語集として整理した。
9	15p、24p	小宮委員	・地域のニーズに応じるMaaS、モビリティハブの設置等、用語だけだと意味と内容が分からないので、具体的に記載してほしい。	・専門用語及び特にカタカナ文字を日本語に変更及び注釈を入れる。かつ、用語集として整理した。